

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

鳥取大学では、本学の基本理念「知と実践の融合」のもとに、教育グランドデザインに「人間力を根底においた教育」を掲げ、これをカリキュラムに反映させている。教員養成もこの理念に基づいて構想しており、教職に関する深い教養と使命感及び実践的指導力を兼ね備えた人間力豊かな教員を養成しようとしている。

特に、本学の教員養成の特徴である「開放制教員養成」を活かし、全学体制により構成された「教員養成センター」を中心に上述した理念をカリキュラム編成に具現化するとともに、人間の生涯発達の理解に優れ、かつ、学習能力形成に優れた専門的実践的指導力を有する教員の養成を目標とする。

本学が教員の養成において目標とする教員像は、以下に示すとおりである。

- (1) 生涯にわたる人間発達と学習能力形成の理解に優れた教員
- (2) 校種間の教育に配慮し、一貫性のある人間教育に優れた教員
- (3) 全学体制による高度な専門性と多様性を身につけた教員

具体的には、次の5つの資質と能力をもった学生の養成を目指す。

- (1) 教科指導と生活指導の両面を視野に入れて子どもに対応ができる資質と能力
- (2) 人間の生涯発達を視野に入れて子どもに対応ができる資質と能力
- (3) それぞれの子どもの特性に応じた配慮や工夫のもと、教科指導、生徒指導ができる資質と能力
- (4) 自らの専門以外にも興味関心を持ち、積極的かつ継続的に学びを進めることができる資質と能力
- (5) 同僚、学校内外の教員以外の専門職、保護者と連携することができる資質と能力

課程認定を受けている大学院各専攻における計画等

【大学院 持続性社会創生科学研究科】

【地域学専攻】

地域学専攻では、地域学関係の専門科目の学びを通じて、大学の教員養成理念に示す教員としての高い資質と能力をもちながら、地域において、地域の人づくりや教育の構想と実践という広い視野から学校教育を捉え、地域住民と共同して学校教育をつくっていけるような、地域における人づくりのスペシャリストとしての役割を担う個性ある教員の養成を各コースで目指す。

地域創生コースでは、高等学校地歴科教諭、公民科教諭、中学校社会科教諭を養成する。

高等学校地歴科教諭については、歴史学という時間軸、地理学という空間軸に関わる高度な専門的知識・理解を、地域をフィールドとしたアクティブな学習活動を通じて獲得、習熟させることで、地歴分野での高度な社会認識と探求能力をもった教員を養成する。

高等学校公民科教諭については、法律学、政治学、社会学、経済学等についての高度な専門的

知識・理解を、地域をフィールドとしたアクティブな学習活動を通じて獲得してこれに習熟させることで、公民科分野での高度な社会認識と探求能力をもった教員を養成する。

中学校社会科教諭については、歴史学、地理学、法律学、政治学、社会学、経済学等、高度でかつ幅広い社会科学についての専門的知識・理解を、地域をフィールドとしたアクティブな学習活動を通じて獲得させ習熟させることで、高度な社会認識と社会の探究能力をもった教員を養成する。

人間形成コースでは、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を養成する。

幼稚園教諭については、幼児の発達と学習、生活を深く理解してその学習支援、発達支援の方法や技能に習熟すると共に、地域調査や実践的研究活動を通じて、幼稚園、家庭、地域社会が連携して、生涯学習の展望をもちながら幼児教育を展開できる高度な専門知識と実践力を備えた教員を養成する。

小学校教諭については、児童の発達と学習、生活を深く理解してその学習支援、発達支援の方法や技能に習熟すると共に、地域調査や実践的研究活動を通じて、家庭、学校、地域社会が連携協力して、生涯学習の展望を持ちながら小学校教育を展開できる高度な専門知識と実践力を備えた教員を養成する。

特別支援学校教諭については、障害児の生理・心理、発達に関わる高度で専門的な知識をもとに、彼等に対する発達支援、学習支援に関わる高度な知識と理解を獲得し、地域調査や実践的研究活動を通じて、家庭、学校、地域社会が連携協力して、生涯学習の展望を持ちながら特別支援教育を展開できる実践力を備えた教員を養成する。

【工学専攻】

本学工学分野においては、教員免許の教科として「工業」だけでなく、「理科」「情報」の取得カリキュラムを継続し、開放制教員養成に資するとともに、初等中等教育での理数科教育を支援し、理工系人材の育成に資することをミッションの一項目として掲げている。工学専攻の学位授与の方針で示す能力は、理工系教育を行う教員としても重要であり、この方針に基づいて編成されたカリキュラムにより、高度専門分野についての技術者・研究者教育の中で身につけた科学・技術の知識と社会との関係を自ら考え、次世代を担う中学生、高校生に対し伝えることができる教員の養成を各コースで目指している。

機械宇宙工学コースでは、高等学校教諭専修免許状(工業)を取得でき、基本となる力学や物理、航空宇宙、制御等を中心とした高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

情報エレクトロニクスコースでは、高等学校教諭専修免許状(工業)、高等学校教諭専修免許状(情報)を取得できる。高等学校教諭専修免許状(工業)については、電気・電子、回路、MEMS等に関わる技術を中心とする高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。高等学校教諭専修免許状(情報)については、情報処理、ネットワーク、ソフトウェア、人工知能等に関する科目を設け、情報の収集・分析・発信について、技術的な面も含めて高度な総合的な知識をもった教員を養成する。

化学バイオコースでは、高等学校教諭専修免許状(工業)、中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校教諭専修免許状(理科)を取得できる。高等学校教諭専修免許状(工業)については、有

機化学や無機化学、物理化学等の基礎化学や応用化学、さらに蛋白質工学や遺伝子工学、生体医工学等を中心とする高度な専門知識と応用能力を身につけた教員の養成を行う。中学校教諭専修免許状(理科)および高等学校教諭専修免許状(理科)については、構造化学、合成化学、表面化学、生物化学、グリーンサステナブルケミストリー、微生物生理学等に関する科目を設け、互いに関係する理科系科目について広く知識をもった教員を養成する。

社会システム土木コースでは、高等学校教諭専修免許状(工業)を取得でき、建設、構造、防災、海洋、環境、システム、信頼性等に関する高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

【農学専攻】

農学専攻では、改組前の農学研究科において、本学の教員養成理念の下に、物理学、化学、生物学、地学の「理科」に関する幅広い専門科目を内包する農学教育の特性を活かし、高校「農業」の教員のみならず、複数の科目に対応できる中学・高校の「理科」教員を養成してきた。これまで、農学研究科はフィールド生産科学、生命資源科学および国際乾燥地科学の3専攻で構成されていたが、改組に伴い農学と国際乾燥地科学の2専攻に編成した。このことで、本専攻内での専門領域の幅が広くなり、幅広い視野で学際性を帯びた素養を修得できるようにした。また、地域学部改組に伴い(旧)地域環境学科の自然科学系教員の移籍により充実したカリキュラムを構成した。このカリキュラムをもとに、食料、環境、生命をキーワードに自然と人間社会との関わりを、広く、さらに深く考察し、中学・高校生に対して伝えることができる、中学校・高校「理科」教員、高校「農業」教員の養成を目指す。

農学専攻では、高等学校教諭専修免許状(農業)、中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校教諭専修免許状(理科)を取得できる。

高等学校教諭専修免許状(農業)では、環境科学、生命科学を応用した農学教育を通じて農業の関係科目(国際乾燥地科学特論Ⅱ、生命環境農学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、発酵・酵素利用学特論、作物学特論、植物病理学特論、園芸学特論、圃場管理学特論、畜産学特論、環境木材利用学特論、森林水文学特論、食料経済学特論、食品流通学特論、法社会学特論、消費者行動学特論、農業経営学特論、育林学特論、アグリビジネス会計学特論)を幅広く学び、高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校教諭専修免許状(理科)では、環境科学、生命科学を応用した農学教育を行う教育課程を組んでおり、物理学、化学、生物学、地学に関する専門科目(国際乾燥地科学特論Ⅰ(環境)、グリーンサステナブルケミストリー特論、食品・栄養化学特論、植物生理学特論、生体制御化学特論、天然物化学特論、有機合成化学特論、実験動物学特論、微生物遺伝育種学特論、菌類分類学特論、植物遺伝育種学特論、細胞生物学特論、自然再生・生態学特論、土壌生態学特論、地形・地質環境学特論、景観生態学特論、樹木生理学特論)によって実践力のある教員を養成する。

【国際乾燥地科学専攻】

国際乾燥地科学専攻では、本学の教員養成理念の元に、環境、食糧・農業および人間開発に関

する地球規模の課題を学び、国際的な視野に立ち、実践的な理科教育の指導が行える教員の養成を目指す。このため、これまで乾燥地の課題解決に取り組んだ実績をもとに、環境保全、産業開発、人間開発に関する国際的な乾燥地における実践的な授業科目を配置、従来の日本語に加えて国際的に通用する英語による授業を含むカリキュラムを編成している。

国際乾燥地科学専攻では、中学校教諭専修免許状（理科）および高等学校教諭専修免許状（理科）が取得できる。

中学校教諭専修免許状（理科）では、基本となる理科の各科目に係る高度な専門知識を修得し、学習指導要領に基づいて理科教育を実施するために必要となる確かな知識と技術を有する理科教員を養成する。高等学校教諭専修免許状（理科）では、理科に関する専門的な知識や力量を備えたうえで、専門性とともに従来の学問分野を超えて俯瞰的に課題を把握して解決できる能力を身につけた教員を養成する。